

ご近所福祉推進体制の中心的存在とは？

①	特定の大型世話焼きさんとその協力者	その世話焼きさんと相性が合わない住民をどうするかが問題。もう1つのご近所福祉推進体制をつくることも
②	ふれあいサロンのリーダーとスタッフ	助け合いへ進むかがカギ。また、サロンのメンバーだけでの助け合いになりがち。そこをどう超えられるか
③	井戸端会議のリーダーと参加者	複数の井戸端会議がそれぞれの小ご近所を仕切ることになり、それらのリーダーがなんとなく連携するという形に
④	趣味やスポーツグループのリーダーとスタッフ	問題は、リーダーが世話焼きでない場合に助け合いを実行しない傾向がある。スタッフの中の世話焼きさんに期待
⑤	民生委員が主導	そこに在住の民生委員がリーダーシップをとって、中型世話焼きさんを上手に活用するという形
⑥	町内在住の超大型世話焼きがご近所を外からリード	ご近所で主体的に助け合おうという気運が生まれてくるかどうか問題。この人におまかせにならぬよう
⑦	小ご近所のリーダー（中型世話焼き）が主体で大型が後方支援	中型リーダーがいない区域をどうするか。大型世話焼きさんがその空白を埋められるか
⑧	小ご近所ごとに中型世話焼きさんが仕切り、彼らがさりげなく連携	中型世話焼き同士が「連携」するかどうか—やはり彼等の上には大型がいるとやりやすい